

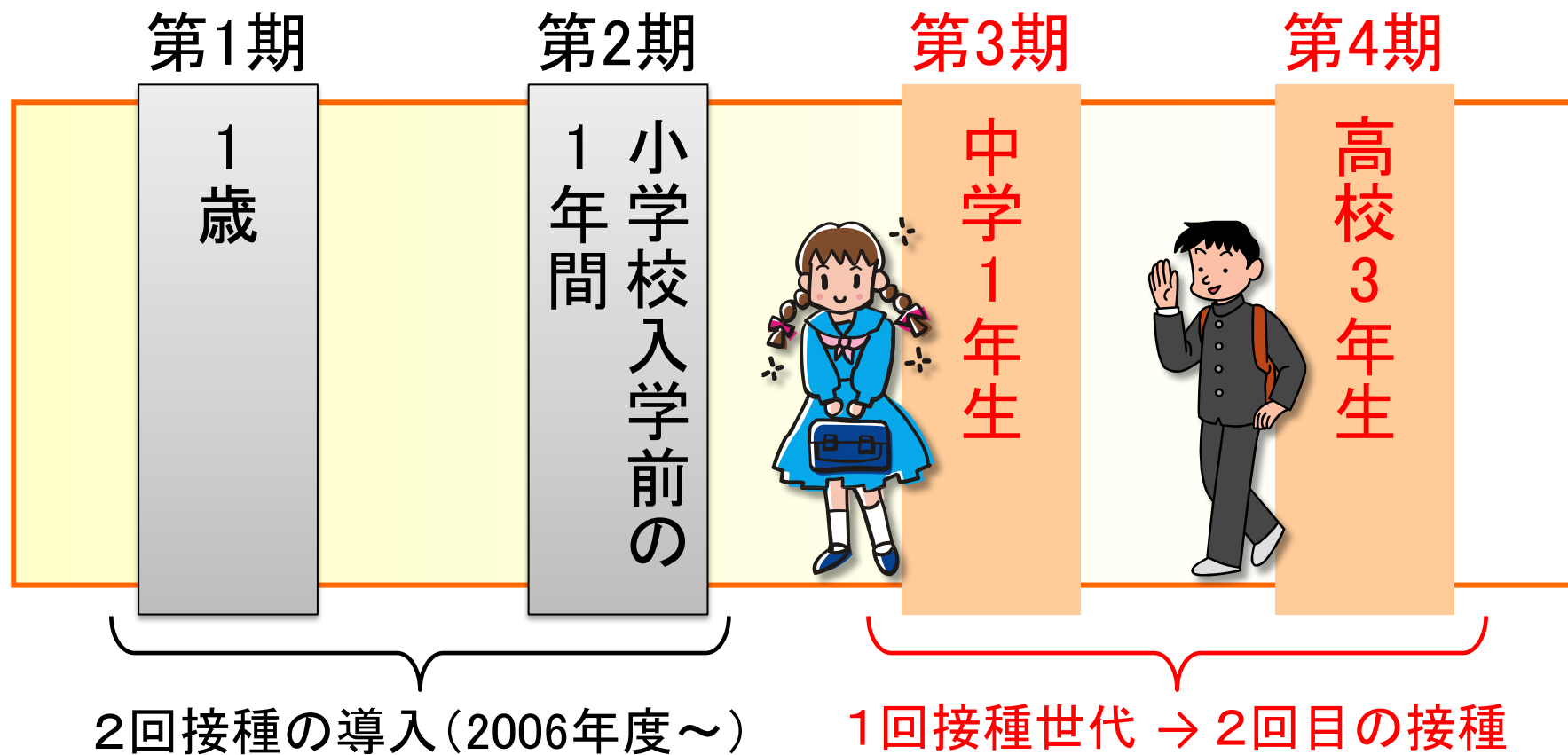
学校における第3期・第4期の 接種状況について

青森県麻しん対策会議
平成26年2月19日(水)

青森県健康福祉部保健衛生課

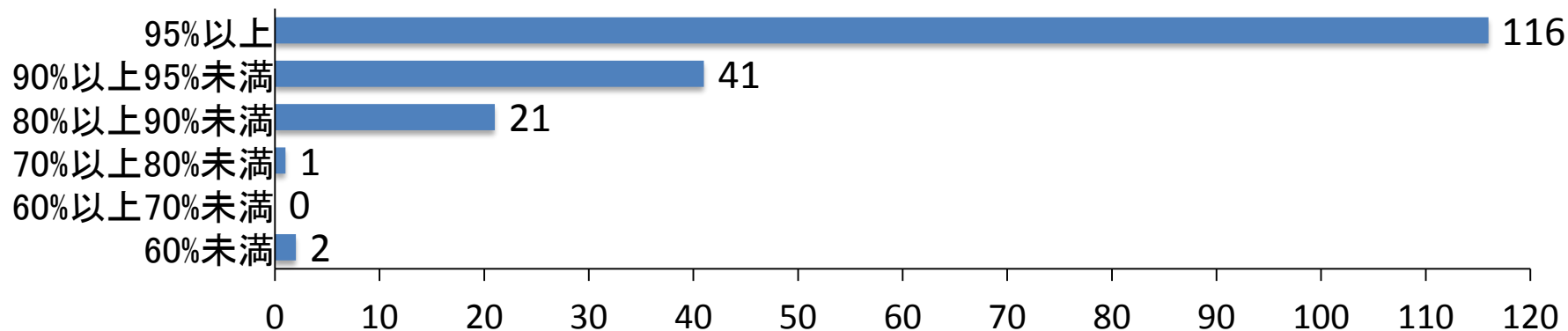
麻しん

麻しん定期接種スケジュール(2008～2012年)



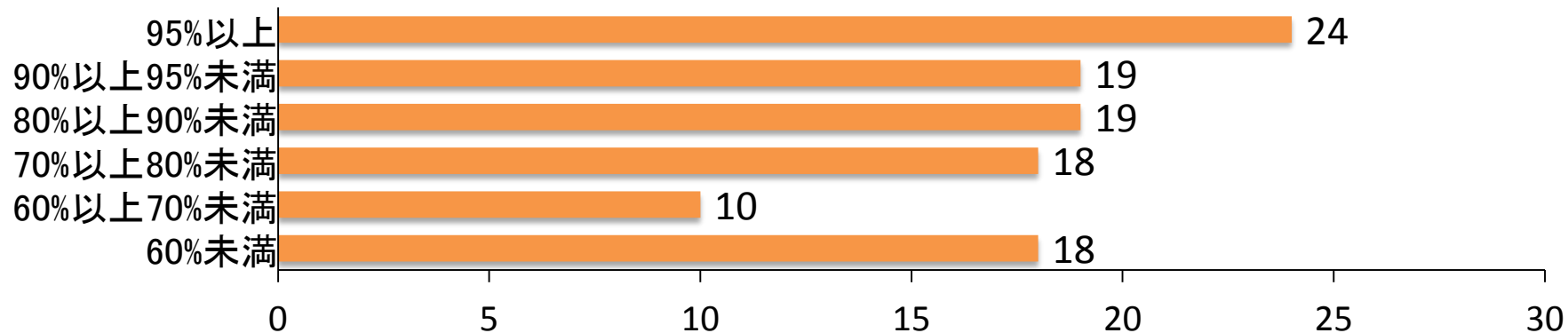
2007年春の麻しんの大流行を踏まえ、麻しんの予防接種を1回しか受けていない者であって、就学等により集団生活をする環境下にあるものに対し、2回目の予防接種を受ける機会を設ける必要があることから、対象者に中学1年生と高校3年生に相当する年齢の者が時限的に追加され、2012年度で終了した。

第3期 (n=181) : 平成25年3月末時点



第4期 (n=108) : 平成24年12月末時点

* 第4期は、平成25年3月末の学校別調査を実施せず



第3期はほぼ全ての学校が接種率80%以上を達成し、6割の学校が接種率95%以上を達成した。

麻しん

保健所別麻しん含有ワクチン接種状況調査結果

＜第3期＞（平成25年3月末）

＜第4期＞（平成24年12月末）

順位	保健所	学校数	接種率
1	むつ	16校	99.1%
2	東地方	8校	98.9%
3	八戸	47校	97.1%
4	五所川原	19校	96.0%
5	上十三	30校	94.0%
6	青森市	26校	93.8%
7	弘前	35校	93.1%

順位	保健所	学校数	接種率
1	むつ	7校	91.1%
2	上十三	12校	87.5%
3	弘前	22校	87.2%
4	五所川原	14校	85.6%
5	東地方	3校	83.3%
6	八戸	26校	81.6%
7	青森市	24校	69.6%

6.0

21.5

* 第4期は、平成25年3月末の学校別調査を実施せず

- 第3期における保健所間の接種率の差は大きく縮小した（平成24年12月末時点の差は17.5）。
- 麻しんが流行しないよう各保健所において、接種率95%以上を達成する必要がある。

麻しん

接種しない理由

番号	未接種理由（複数回答可）	平成25年3月末時点 第3期（n=628）		平成24年12月末時点 第4期（n=2,547）	
		回答数	割合※	回答数	割合※
1	過去に麻しんにかかった	68	10.8%	125	4.9%
2	対象となる以前に既に2回接種済み	77	12.3%	91	3.6%
3	アレルギー等の理由により医師に接種を止められている	10	1.6%	18	0.7%
4	受けに行ったが、発熱等によりできなかった	13	2.1%	30	1.2%
5	受けようと思っているが、まだ受けていないだけ（特に理由なし）	275	43.8%	1,696	66.6%
6	受けようと思っているが、学校生活（授業、部活動等）が忙しい	82	13.1%	367	14.4%
7	自分が接種対象者であることを知らなかった	17	2.7%	117	4.6%
8	その他	86	13.7%	103	4.0%

※小数点第二位以下を四捨五入

* 第4期は、平成25年3月末の学校別調査を実施せず

接種率の低い学校では、①生徒が予防接種の必要性を認識していない、②生徒の接種機会が十分に確保されていないことが考えられる。

学校全体で生徒への接種勧奨に取り組んでいる

- 麻しん対策に対する認識が高く、生徒が1人でも麻しんに罹患した場合、学校内での感染拡大、地域での流行につながる恐れがあることを十分理解している。
- クラス担任等、職員全員が接種勧奨に協力的

学校教諭の高い指導力

- 早期かつ複数回の集団・個別指導が徹底されている。
- 生徒に予防接種の必要性を理解させるために様々な工夫をしている。
(例: 保健便り、プリント、リーフレット、メッセージカード等の作成・配付、麻しん流行に関する新聞記事の掲示、他学校との接種率比較)

市町村等関係機関との連携・協力が進んでいる

- 接種スケジュールの事前確認
- 疑問が出るとすぐに電話で問い合わせ

